

# 樹脂関連の試作はお任せ 挑戦し続ける老舗町工場 ものづくりの楽しさを次世代へ…

樹脂リードモデル

創業52年の樹脂リードモデル（座間市小松原、迎隆一朗社長、046・266・4131）は、プラスチック成型業とりわけ試作の分野では、老舗に入る企業である。自動車・オートバイ・医療機器電化製品、OA機器、TV・映画のセット、アンドロイドなど：樹脂を使うものなら業界問わず、一品ものや試作品を主に製造している。

中でも、発泡ウレタン、スポンジ、硬質ウレタンなど柔らかかなものを創り出す技術が得意で、自動車のシートや事務椅子用クッションの試作品として使われている。それに付随するプラスチック・金属部品も3Dプリンターや真空成形を駆使して製作し、「樹脂リードモデルに頼めばすべてできる」をめざしている。最近では、短納期が業界のミッションであり、開発に時間をかけにくいいため、同社でも毎年のように新規設備を導入し、人と機械が一体になってより早く高精度で低コストの製品づくりに注力している。

会社一丸で力を入れてきているもう一点は「地域貢献」である。具体的には、地元の小学生の社会科見学受け入れで、昨年は約90名の生徒さんに工場見学・質疑応答を実施した。大手自動車メーカーの組立工場見学後に来社し、

部品がどのようにならざるを得ないか目当りにした子どもたちは大喜びで、町工場の役割と面白さを体感していただけたようだ。また、「ZAMAわくわく町工場」というイベントを、座間市の中小企業が連携して立ち上げた。地域の子どもたちをターゲットに、実際の町工場を会場として、約15社の出店するワークショップが体験できるもの。2000名近く来場され、初回は大成功に終わった。

今後も、お客様に、地域に貢献できる企業をめざし、社員一同挑戦し続ける。

